

創立148周年

学校だより



は
南風の子

中種子町立
南界小学校
令和3年9月20日(月)

充実の2学期へ

校長 安満 浩之

9月に入り、3週間が過ぎましたが、新型コロナウイルスの脅威は昨年度にも増して強くなり、本年度も運動会は学校単独で行うこととなってしまいました。来年こそは、校区合同で行えることを願っております。

さて、この夏休み、校区や保護者の皆様には、巡回パトロールや愛校作業の協力をいただきありがとうございました。お陰様で、夏休みに全員事故などに遭うことなく、また素晴らしい環境で、元気に2学期を迎えることができました。

コロナ禍で我慢の休みとなりましたが、子供たちは様々な経験をし、見聞も広げてきたようです。子供たちに話を聞いてみると、「自分から皿洗いなど手伝いを頑張った」「牛の世話やタブレットを使って勉強できた」「夕方500m毎日走った」「家族で種子島のいろんな所を巡った」などを教えてくれました。

例年ならば、これから陸上記録会・遠足・町音楽会・学習発表会・持久走大会・町民運動会・相撲大会等の多くの行事が行われる予定でしたが、御存知のとおりコロナの影響で中止や規模縮小となっています。しかし、そんな中でも一つ一つの行事をしっかりと目標や希望をもって取り組むことが大切です。「毎日20分間読書をしよう。」「テストでは、いつも80点はとれるように先生の話をよく聞いて、わからない時は必ず聞こう。」など具体的に目標を決めて実行してほしいと思います。

【令和3年度全国学力・学習状況調査】の結果より

5月に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果については、新聞やテレビで全国的に報道されました。

本校の結果は、国語では全国平均を3ポイントほど下回りましたが、算数は全国平均と、ほぼ同じでした。

内容を分析してみると、国語では「知識・技能」は全国平均を上回っているものの「目的や意図に応じ、資料を使って話すこと」や「中心となる言葉を見つけて文を要約する」などの思考力・表現力を問う問題ができていませんでした。一方、算数は、「数と計算領域」は、よくできていましたが、「帯グラフで表された複数のデータを活用して割合を求める」などの「データの活用」ができていませんでした。今後、この結果を活かして各試験等に粘り強く取り組むことや学んだことを確実に身に付ける学習や練習に取り組んでいきます。

また、2学期も家庭学習強調週間「はなまるウィーク」に取り組みます。学習の定着は家庭学習が鍵になります。各家庭の協力をお願いします。

